

特別講演



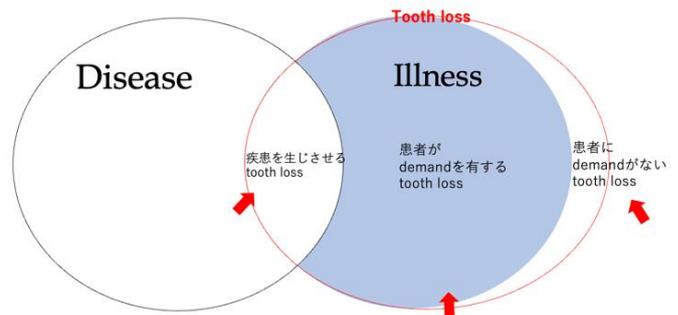
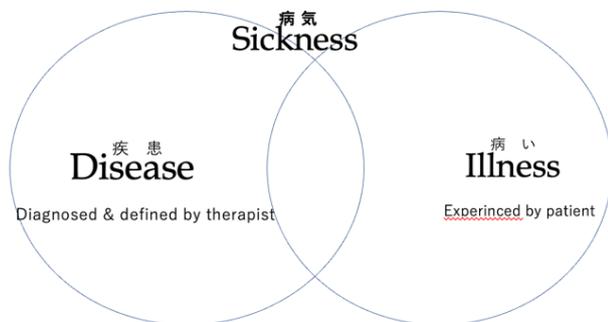
欠損補綴のサイエンス～欠損とはなんだろう？

京都市開業 長崎大学臨床教授
医療法人インターメディカル なかい歯科院長
中居 伸行

歯の欠損は疾患ではなく障害であるため、一義的な治癒のゴールを設定することなく個々の状況に応じ患者が真に必要とするリハビリテーションとしての治療を行うべきである。複数歯欠損に対する科学的根拠はこれまで必ずしも十分ではなかったが、補綴装置を装着すれば口腔関連 QOL や栄養摂取が必ず改善するといった単純なことではないことも分かってきた。これらを参考に、歯科補綴介入において広い視野での総合的な診断が肝要である。

本講演では、「欠損とは疾患とは異なり障害である」という基本的な考え方から始まり、それに則り少数歯欠損～多数歯欠損への対応、さらにはどうやって終末歯列まで進まないようにするか、どの段階で終末と考えるか、どう終末と付き合うか？あるいは終末から生還するか？」といったことを Value-Based Dentistry という考え方と共に説明したい。

1. 医療における歯の欠損の位置付け



上記シエマに示すように、欠損はほとんどの場合、医療人類学的には疾患とは別に「病い」と分類され「障害」と扱われる。その一部は「疾患」の性質も持っている、と考えるとわかりやすい。

2. 欠損補綴の必要性/不必要性

したがって、すべての欠損に介入して「あったモノ」を再建するかどうかは、術者(専門家)の客観的医療知識・定義・基準によって決定されるべきものではなく、患者(素人)の主観も加味しながら意思決定 (Shared-decision making) されていくべきである。その際、何を最大化してゴールを考えればいいのか？それは価値 value である。医療における value とは何かを定量的にシェアする Value-Based Dentistry についても触れたい。

3. 抜歯の基準

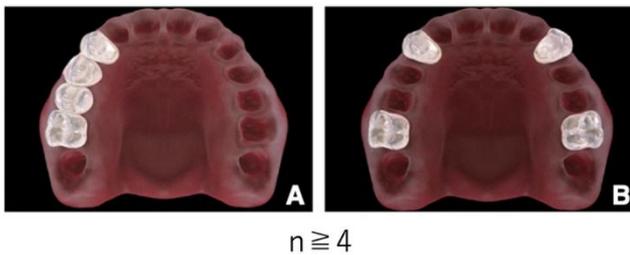
その補綴治療計画の意思決定の過程で、抜歯する/しないという問題にしばしば直面する。

昨今では、残存指数が多いことよりも、機能している歯、あるいは咬合支持数ということが本当に重要なことであろうというデータが散見されて

いる。

その一方、8020 運動のように歯を残すことの重要性が全身状態との関連性からもしばしば語られているが、最新の国民健康調査では 8020 を達成率が 63%にもかかわらず、85 歳以上の完全無歯率は 36%にも上る。このことから本当に機能している、役に立っている歯が残っていたのか、再考する必要がある。

いずれにしても、歯は「役にたつ」から残すのであって、むしろないほうが役にたつことも多い。その見方、基準についても提案したい。



4. 一般開業医での部分床義歯/インプラントの活かしどころ

部分床義歯は万能か? どういう本来ケースに使うべきものか? 部分床義歯の弊害は何か?

インプラントをミニマムに使用し、確実に患者の QOL を向上させる考えた方などを自院で行った臨床研究の結果も交えながら、科学的根拠に基づきお話ししたい。

クロスオーバー試験 n=24



<略 歴>

- 1992 年 3 月 広島大学歯学部卒業
- 1996 年 3 月 広島大学大学院 歯学研究科歯学臨床系専攻卒業 歯学博士
- 1996 年 7 月 広島大学歯学部第 2 補綴科 助手
- 1998 年 4 月 英国ダンディー大学歯学部 客員講師 英国歯科医師会 名誉登録医
- 2002 年 4 月 広島大学歯学部附属病院
口腔維持修復歯科 義歯・インプラント診療室Ⅱ 外科医長
- 2003 年 10 月 広島大学病院 口腔維持修復歯科 咬合・義歯診療科 外科医長
- 2006 年 3 月 武田病院グループ インプラントセンター
(旧 城北病院) 現 北山武田病院 歯科部長
- 2008 年 5 月 なかい歯科 御所南 ほてつ インプラント センター 開院
- 2009 年 5 月 公益社団法人 日本補綴歯科学会 認定研修機関 施設長
- 2013 年 4 月 長崎大学歯学部 臨床准教授
- 2013 年 4 月 長崎大学歯学部 臨床教授
- 2022 年 5 月 医療法人インターメディカル設立
- 2023 年 4 月 公益社団法人 日本補綴歯科学会 代議員

<所属学会>

- ヨーロッパインプラント学会 (European Association for Osseointegration) 認定医
- 公益社団法人 日本補綴歯科学会 専門医・指導医
- 一般社団法人 日本口腔顔面痛学会 専門医・指導医
- 公益社団法人 日本口腔インプラント学会 専門医
- 一般社団法人 デジタル歯科学会